

高齢者による地域活性化事業

高齢者を中心とした多世代交流ネットワークの形成

— 大学をハブとした新たな社会基盤づくり

成 28 年 12 月 23 日 (金)
10:00~19:00

東京大学本郷キャンパス
赤門総合研究棟 A200 講義室



日時・場所

プログラム

第1部

- 1) 基調講演「長寿社会に生きる」
秋山 弘子 (東京大学高齢社会総合研究機構・特任教授)

- 2) パネルディスカッション
「高齢者がひらく新しい未来」

第2部

- 1) 事例報告
「高校生と高齢者の交流によるまちづくり」
「華齢なる音楽祭」
- 2) ワークショップ
「高齢者と多世代交流による新しいコミュニティの形成」

第3部

情報交換会・事業評価会議



高齢者による地域活性化事業
高齢者を中心とした多世代交流ネットワークの形成
—大学をハブとした新たな社会基盤づくり

開催の趣旨

高齢者の社会参加と多世代交流による新たな「まちづくり」のあり方を考えます。

少子高齢・人口減少社会の到来をむかえ、年金をふくめた社会保障制度の維持困難や社会的活力の減衰といった悲観論が充満し、高齢者が「問題」とみなされる傾向が強くなっています。しかし反面で、このような見方は、従来の拡大基調の社会における国のあり方を前提としたものであり、むしろ、基礎自治体さらにはその土台となるコミュニティに目を転じてみると、高齢者がいきいきと活躍し、他の世代と協働して、新たな社会基盤を形成している姿を見出すことができます。

本フォーラムでは、高齢者の社会的な活躍を促進することを目的として、昨年度の成果にもとづき、基礎自治体さらにはその基層レベルのコミュニティという「場」において育まれている、高齢者その他の世代との協働による新たな「まちづくり」の実践事例を取り上げます。それにより、高齢者の社会参加によるコミュニティレベルの多世代交流促進モデルを形成し、来たるべき新たな社会像を構想することを趣旨とします。

プログラム

第1部 10時～12時30分

1) 基調講演

「長寿社会に生きる」

秋山弘子

(東京大学高齢社会総合研究機構・特任教授)

2) パネルディスカッション

「高齢者がひらく新しい未来」

ファシリテータ：牧野篤 (東京大学・教授)

パネラー：新居浜フォーラム関係者

平取フォーラム関係者

北秋田フォーラム (昨年度) 関係者

大分フォーラム (昨年度) 関係者

コメンテータ：西井知紀 (文部科学省・社会教育課長)

—お昼休憩—

第2部 13時30分～16時30分

1) 事例報告「高校生と高齢者の交流によるまちづくり」

報告者：浅井勝巳 (飯田 OIDE 長姫高等学校・教諭)

木下巨一 (飯田公民館・副館長)

桑原利彦・華齢なる音楽祭関係者

2) ワークショップ

「高齢者と多世代交流による新しいコミュニティの形成」

[WS 1]

高齢者が主役の多世代交流型コミュニティの形成

[WS 2]

高齢者と高校生がつくる新しいコミュニティ

[WS 3]

高齢者と子ども・若者の交流が生む信頼感ある社会

[WS 4]

高齢者が学びあってつくる楽しいコミュニティ

全体コーディネータ：村田修治 (テラス21)

第3部 17時～19時

情報交換会・事業評価会議 (参加費：500円)